

取扱説明書（国内販売用）

■ 小形スプレーガン RG-3L/RG-3L1

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。使用時に不意に塗料が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。

△印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

△ 警告 告警内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることがあります。

△ 注意 注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

重要 この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。

国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

重要仕様

最高使用圧力	0.68MPa
騒音値	62dB(A)
※1 吹付条件	測定位置

重力式

塗料の送供給を絶対にしないでください。

この取扱説明書は、安全にご使用いたぐために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。

この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。

他の用途には使用しないでください。

正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。

ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。

本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

■ 安全にご使用頂くための警告事項

警告

火災と爆発

1. 吹き付け作業場は、火気厳禁です。

・塗料は引火性があり火災の危険性があります。

・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。

2. 次のハロゲン化炭素系溶剤は使用しないでください。

化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。

・不適合溶剤：塗化メチル、塗化エチル、二塗化メチレン、四塗化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等
(特殊な塗料やシナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)

3. スプレー缶にはアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。

アースが不十分だと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。

機器誤用

1. 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。

目や皮膚の炎症、人体への危険があります。

2. 最高使用圧力以上のご使用は絶対に避けてください。

3. 洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時は必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。

圧力が残っていますと、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。

圧力を逃がす方法は、スプレー缶への圧縮空気、塗料、シンナー等の供給を停止し、引金を軽く引くことにより行います。

人体保護

1. 吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。

換気が不十分だと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。

2. 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)

目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。

目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。

3. 健康至上耳栓の着用をお奨めします。

使用条件、作業環境により、騒音値が85dB(A)以上になる場合があります。

その他

1. 製品の改造はしないでください。

十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。

2. 他の装置(ロボット、レシプロ等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。

ロボットやレシプロとの接触だけをすることがあります。

3. 食品用や化学用品用には使用しないでください。

塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。

4. 异常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。

■ 部品名称

No.	品名	RG-3L	RG-3L1
1	空気キャップ	1	
2	塗料ノズル	1	
◆ 3	ニードル弁セット	1	
4	シャミナット	1	
◆ 5	ニードル弁パッキンセット	1	
5-1	ニードル弁パッキンセット(0)	1	
5-2	ニードル弁パッキン押し	1	
7	本体セット	1	
7-1	塗料ニップル	1	
7-2	空気ニップル	1	
8	引金	1	
9	E形止め輪	2	
10	引金止め袖	1	
11	空気弁棒	1	
12	空気弁シートセット	1	
12-1	Oリング	1	
13	空気弁シート押し	1	
14	フラグ	1	
14-1	空気量調節装置	1	
15	空気弁ばね	1	
16	空気弁	1	
17	塗料調節ガイドセット	1	
18	ニードル弁ばね	1	
19	塗料調節ツマミ	1	
20	掃除用ブラン	1	
21	取扱説明書(本書)	1	

◆印の部品は消耗品です。

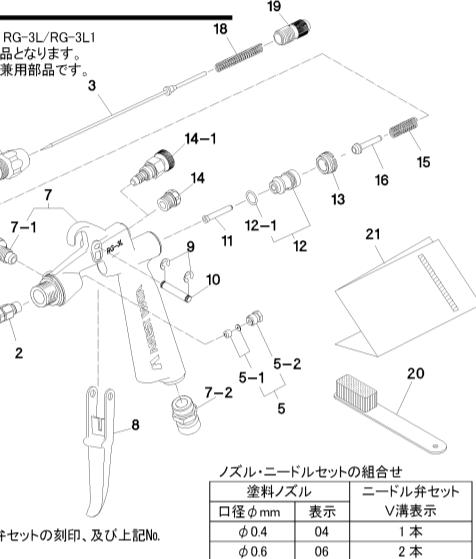
◎部品御注文の際は、スプレー缶形式、空気キャップ、塗料ノズル、ニードル弁セットの刻印、及び上記No.

品名を御指定ください。

◎塗料ノズル又は、ニードル弁セットを交換する場合は、ノズル・ニードルセットの組み合わせて交換してください。

◎開封時、破損や欠品がないことを確認してください。

◎欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。



- 1 -

- 2 -

■ 調整方法

注意

・エアーダライヤやエアーフィルタを通したきれいな圧縮空気を使用してください。

塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。

・購入後初めてご使用の場合は、塗装通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。

防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。

・ホース、塗料容器は、スプレー缶にしっかりと固定してください。

ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。

パターン	原因	対策
息切れ	1) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 塗料容器取付けナットよりの空気の混入。	1) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 塗料容器取付けナットよりの空気の混入。
スピット	1) ノズル・ニードルセットのシート不良。 2) 一段吹き(空気のみ噴出)代の減少。 3) 空気キャップ内部の塗料汚れ。	1) 洗浄又は、ノズル・ニードルセットの交換をしてください。 2) ノズル・ニードルセットの交換をしてください。 3) 空気キャップの洗浄をしてください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	調 整 し 増 加	洗 淨	部 品 交 換
塗料漏れ	スプレー缶先端部	塗料ノズル～ニードル弁セット	シート面のゴミ・キズ・摩耗 塗料調節ツマミの緩めすぎ	○	○	○
	塗料ノズル	本体	ニードル弁用ねじのヘタリ	○		○
	ニードル弁パッキン部	締め付け不良 シート面のゴミ・キズ	ニードル弁パッキン押しの緩め付けすぎ によるニードル弁セッティング不良 ニードル弁セッティングによる塗料の固着による ニードル弁セッティング不良	○	○	○
塗料出す	スプレー缶先端部	ニードル弁パッキン ニードル弁バッキン	摩耗 締め付け不良 開度不足	○		○
	塗料ノズル	塗料調節ツマミ ニードル弁バッキン ～ニードル弁セッティング	孔の詰まり・ゴミ・固着 塗料固着		○	○
空気漏れ (空気キャップ先端からの)	空気弁 空気弁セット部	空気弁 空気弁シートセット	シート面のゴミ・キズ 空気弁ねじのヘタリ	○	○	○
	Oリング		劣化・キズ			○

保守時の作業手順		重　要
1. 残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けで行います。		1. 洗浄不良はバタン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄してください。
2. 各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行い、ウエス等でふき取ります。		3. スプレー缶全体をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には空気キャップ、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁セッティングは絶対にキズを付けないでください。
3. 分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。		4. ニードル弁パッキンを押さえながら、ニードル弁セッティングを確認します。一方で、空気弁の先端部は鋭利な針状で、取扱いには充分注意してください。尚、塗料調節ガイドセットは極力分解しないでください。
4. ニードル弁セッティングを調節する時は、ニードル弁セッティングを挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締めた所からスパナで締める目安は、手で締めて止まつた所から1/6回転程度です。		5. ニードル弁セッティングの先端部は鋭利な針状で、取扱いには充分注意してください。尚、塗料調節ガイドセットは極力分解しないでください。
5. ニードル弁セッティングの取外し時、塗料調節ガイドセットを本体より取り外す必要ありません。塗料調節ツマミを外し、ニードル弁バッキンを取り外します。		6. ニードル弁セッティングを挿入しない状態で各部品を本体に組込むと空気弁の倒れにより塗料調節ガイドセット内のリップバッキンを損傷する場合があります。
6. 空気弁の組立は、空気弁、空気弁バッキン、塗料調節ガイドセットを本体より組み立てる後にニードル弁セッティングを挿入し、その		